

北海道津別高等学校 令和4年度学校評価報告書

次のとおり令和4年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- (1) 主体的に学ぶ力の育成
- (2) 他者と共に生きる力の育成
- (3) 未来を切り拓く力の育成
- (4) 地域に根ざした教育の実践
- (5) スクールミッションを実現する組織運営
- (6) 教職員の資質向上と健康管理

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
(1) 主体的に学ぶ力の育成 (学習指導)	・ I C T機器を活用した授業に各教科で取り組んでいる。さらに効果的な活用を目指す必要がある。新学習指導要領に基づく観点別評価の実施について、評価システム活用などの工夫によってスムーズに移行できた。今後、評価の妥当性を検証していく。	主体性を育む取組は評価できる。今後コロナの状況にかかわらず I C Tを活用し学習機会を保障できるようにしてもらいたい。
改善方策	I C Tの活用について校内研修を定期的に行い、有効的な使用の促進を図る。	
(2) 他者と共に生きる力の育成 (生徒指導)	・ 合同の清掃活動、「檜の木タイム」等、学年の垣根を越えコミュニケーションをとれる工夫をし寛容性が高まった。 ・ 校則の見直しは生徒会を中心に計画的に取り組んでいる。	いじめの根絶に向けた、ネットリテラシーやコミュニケーションスキルの向上などの取組は評価できる。生徒心得を生徒自身に考えさせることも自主性を育むのに良い取組である。
改善方策	学年を越えた連携が図れるよう、学校行事、教科、部活動等で交流の機会を増やしていく。	
(3) 未来を切り拓く力の育成 (進路指導)	・ 系統立てた進路活動になるよう改善を図った。 ・ 「つべつ学」により探究の仕方が身についてきている。 ・ 模擬試験と講習が連動するよう改善する。	町内、地域の方の協力を得るのは大変良い。計画的に進めてほしい。教科横断的プログラム再構築できたことは大きな成果であった。
改善方策	つべつ学を中心に教科横断的な取組を進めて行く。	
(4) 地域に根ざした教育の実践 (健康安全)	・ 学校だよりやホームページ等の広報活動は継続して外部へ発信している。コロナ収束後の地域との連携が今後の課題である。	学校だよりやホームページはあまり見られていない。他のツール (Instagram等) の活用など、生徒自身が発信する方法を検討するべき。
改善方策	現在の広報活動を継続すると共に、他の方法への取組を検討する。	
(5) スクールミッションを実現する組織運営 (組織運営)	・ 働き方改革については、業務の平準化に課題が多く残った。一人で複数の業務を同時に抱えることがないよう改善が必要である。	教育現場の構造的な問題なのか遅くまで仕事をしている様子が外からもわかる。抜本的な業務改善が必要である。
改善方策	業務改善のアイデアを生かした負担の軽減を図るとともに、業務量の把握に努め柔軟な業務分担を行う。	
(6) 教職員の資質向上と健康管理 (健康管理)	・ 各種研修会がオンラインで開催され、授業に大きな影響がなく研修を受けやすくなった。 ・ 定時退勤日と部活動の休養日を併せる工夫をしたが勤務時間の短縮に大きく影響しなかった。	研修機会が多いことは良い。積極的に経験の浅い先生には研修してもらい、生徒へ還元してもらいたい。
改善方策	部活動休養日と定時退勤日の連動を行事予定に記載し確実に履行していく。	
公表方法	学校ホームページへの掲載	